

大きく変わる学校

新コース プログレッシブ政経/IT 医学サイエンス

春日部共栄中学校



春日部共栄中学校は1980年に開校した進学校、春日部共栄高校が中高一貫化をめざして2003年に開校した学校です。高校は進学実績が順調に向上、2021年は国公立大現役84名合格と、過去最高を記録しました。一方、部活動でも水泳部と吹奏楽部が県内屈指の強豪で、オリンピック選手も輩出しています。しかし、今後の社会のあり方を考えたとき、従来型の教育体制では社会が求める人材を送り出すことが難しいとして、中高一貫教育を2022年から抜本的に改めることになりました。

1. 育む「5つの力」

従来からも重視されてきた知識や技能は、今後の社会でも大切ですが、未来の社会を創造していく中心となる人材には、それだけでなく「表現力」「行動力」「思考力」「自己肯定力」「判断力」も高度な水準で求められます。そこで、新たなステージ制とコース制を実施します。

2. 新たなステージ制

中高6年間を中1・中2、中3・高1、高2・高3の3つのステージに分けます。中1・中2は「人間形成と学習・研究アプローチステージ」とし、中学の全範囲の学習を終えるほか、次のステージの柱となる研究活動に入るための基本的な姿勢や手法を身に付けます。中3・高1は「研究活動完成ステージ」とし、高1・高2の学習を進めるほか、個人ごとに社会課題の解決につながる研究活動に取り組み、研究発表を行います。高2・高3は「大学アプローチステージ」とし、高2で高校の学習内容を終了、研究活動を振り返って、志望大学に向けての自己推薦文を完成させます。高3は志望大学合格に向けた進学指対策に重点を置きます。

3. 新たなコース制

これからの社会は、従来の文系、理系といった枠では収まらない学際的な人材が求められます。そこで中1の入学時点から、生徒たちの興味関心に基づいて「プログレッシブ政経」と「IT医学サイエンス」の2コース制とします。プログレッシブ政経コースは地理巡検、歴史巡検、ビブリオバトル（書籍の魅力紹介のコンクール）、ディベート、模擬国連、大使館訪問などに取り

組むほか、金融教育も実施し、決算書を通しての企業研究なども行っています。IT医学サイエンスコースはプログラミング教育、天体観測巡検、地学巡検、メディカル入門講習、メディカル論文講習、理化学研究所見学などに取り組みほか、楽しみながら科学に触れる蔵前理科実験教室の取り組みも受講します。中学生は興味・視野をどんどんと広げるべきなので、両コースとも各教科幅広く学ぶとともに、学びたい意欲があれば上級学年内容や大学内容も学べるコースとなっています。

4. 両コースで学ぶこと

「The World View」は新聞の切り抜きを要約し、自分の意見を記して他の生徒と共有します。最新の社会問題や政治、IT、科学の知識などを吸収するとともに、提案する力を鍛えていきます。また、各分野の最先端で活躍する方を招き、年間複数回行われる講演会は事前レポートを作成した上で臨みます。この効果で質問が活発に飛び交います。

さらに両コースとも実践的な英語力育成には特に力を入れます。中3の夏には外国人講師10名を招いて、共栄サマーイングリッシュプログラムを実施、高2ではオーストラリア修学旅行を実施します（全員）。また中1・中2のグローバルイングリッシュプログラム、中3のバンクーバー語学研修、高1・高2のオーストラリア海外研修、ボストングローバル人材育成プログラムなど多彩な取り組みも行っています（希望制）。